

地区別意見交換会(落合地区) 記録(概要)

開催日時	平成31年1月19日(土) 午後7時00分 ~ 午後8時33分		
開催場所	落合公民館 2階 会議室		
出席議員	佐藤和之(代表者)	齋藤文明	筒井 巖
	伊澤正男		
参加者数	13人 (傍聴者) 荒川礼子議員、亀井崇幸議員、河合落合公民館長		
報告内容	地域のことを教えてください！		
市民意見	議員意見		
まちづくり推進会議で作成した「落合地区きてみてマップ」の説明。 ・人が集まるところにこのマップを設置し、落合地区をPRしている。 ・ほとんどが山林だが、道沿いに耕作地がある。 ・地区の生活に溶け込んでいる神社や祭、「シモツケコウホネ」の生息地などをマップに掲載している。 ・風水害の人的被害がない地区であり、住みやすい。			
手岡の獅子舞、小倉の弓取童子はよく新聞で紹介される。			
私は10年くらい前に東京から引っ越してきた。この地区の良さは自然が豊富なところ。コンビニが無くて不便と思う方はいると思うが、私はコンビニが無くていいと感じている。			
風水害の人的被害、何年か前の集中豪雨で福祉施設の方が亡くなっている。			
それは風水害の被害というよりも、その二次的被害だった。			
	今は落合地区の概要説明の時間なので、後でご意見を伺う時間を取る。		
	落合はそばを提供する店舗が多く、おそばがおいしい地区という印象。		
先ほどの話で、自然が豊かというのはそのとおり。ただずっと住んでいるとそれが当たり前になっている。都会から来るとそういった自然が素晴らしいと思うのかも。			
獨協医療センターを土沢の産業団地につくるには、100億円かかると聞いている。日光市の財政状況が厳しい中で日光市の負担はどのくらいになるのか。			
	市の負担は全体で約50億、県と市、併せて10年15年で(負担していく)。市としては病院は来てほしいが、厳しい財政を考えるとどうやって支えていけるか…この件については国県との絡みもあり、まだはっきり決まっていない。土沢に病院ができると決まったわけではない。建設地の土地の調査について約700万円の補正予算をつけている。		
	金額が独り歩きしているようなので補足すると、市としての負担は10億ちょっとくらいの計算である。あとは県や国がどうするかはまだわからないが、我々が聞いているのは、獨協の上の方が変わったばかりであり、具体的には進行していない。ただ県も市もこの額は負担できないと私は思っている。		
落合地区には昔、病院があったが今は診療所もない。上都賀病院を建て替えた際に、日光市から多額の補助金が出たと聞かすが、補助するにあたり、日光市が落合地区に診療所を建てて、その診療所に上都賀病院から医師を派遣してもらうという条件を出したと聞いている。その話は現在どうなっているのか。			
	落合地区の方などが上都賀病院を利用しているとのことで、市では補助金を出した。診療所に医者をおくのはなかなか大変なこと。今後その診療所の設置については定かではないが…		
上都賀病院は、市で診療所などを整備すれば医師を派遣すると聞いているが。			
	そのようだ。		

市民意見	議員意見
	ただ、この件は今日のテーマと離れてしまった。時間があればお聴きする。
【公民館長 来室】	
	先ほどマップの説明をしてもらったが、館長から何かあれば・・・
<p>【公民館長】このマップは、地域振興課で起ち上げた地区の皆さんが委員となる「まちづくり事業検討会」の中で出された意見から、まちづくり事業の一環で作成したものである。ちなみにまちづくり事業では他に、「ふれあい交流会」で使用している大きなテントやポップコーン機と綿あめ機、通学路用の除雪機も購入している。このマップは、みんなでこの地区の良さを再認識することを主旨としているので、地区の小学校2校、中学校1校、JR・東武の3駅、農協支所、公民館の合計8カ所に設置した。作成して気が付いたことは、同じ落合地区であっても、隣の自治会が何をやっているのか知らないことである。「このお祭り、いつやっているの？この神社はどこにあるの？」など委員会で様々な意見をしながら作成した。その委員会は、自治会長から2人と、長寿会、民生委員、婦人会、体育協会から委員を募った。継続的な事業なので、次年度も進めていきたい。</p>	
<p>文挟には立派な彫刻屋台があるが、組み立て式であり、組み立てや収納に大変時間がかかるので、繰り出すには至らないのが現状。組み立てれば立派な彫刻を目にした皆さんは感心する。現在は、この屋台を組み立てた状態で保管できる屋台倉庫を作りたいという意見があるので、近々建設検討委員会を起ち上げる予定である。倉庫建設の場所は旧落合支所の跡地を借用できればとの意見がある。</p>	
	現在はどこに保管しているのか。
<p>現在は、市の(有形)文化財である郷倉(文挟宿郷倉)に部品で保管している。この彫刻屋台も市の(有形)文化財に指定されている。</p>	
<p>地域を守るという例。文挟駅はつつじが大変きれいで、観光客に喜んでもらっている。以前雑草が生い茂り、つつじが負けそうになっていたことを見かねた文挟・小倉自治会有志が美しいつつじを保っていこうと昨年からは草刈りを始めた。 なお、つつじの下の土地が市の管理地なので、草刈りの後、そこでパーベキューをしたいなど思っているのでも許可をもらえたらありがたい。</p>	
<p>文化的な面で良いところ ・地区の体育祭が50年くらい続いており、10地区(全地区)が参加。 ・地区で駅伝大会も行っている。 ・緑が丘ふれあい交流会は落合中学校を中心に、学生と地域住民、先生と地域住民のコミュニケーションを持つことを目的に、地域の様々な団体が参加して8回目を開催している。落合中学校を会場に、スポーツをやったり、作品展示、生徒の演奏などが行われ、地域住民は無料で食事を振舞うなど「ふれあい」を重視し、「和」を保ちながら落合地区の発展のため続けている。 ・落合地区の中の各地区でもミニ運動会や懇親会を行っている。 このようなふれあい事業が続いていることが、他の地区からうらやましがられているところである。</p>	
<p>自主防災活動としては、各地区で毎年避難訓練をやっているが、地区単位では大災害に対応しきれないため、図上訓練も含めて年に1回は落合地区全体の訓練を行っており、昨年度は市の防災訓練を落合地区で行い、多くの住民が参加した。このような面からも落合地区はまとまっていると思う。このまとまりが知れ渡り、落合に住んでみたいと思ってもらえたら良い。</p>	
<p>この地区は杉並木街道、JR線、東武線により生活が厳しく制限されていて、住民は不便である。</p>	

市民意見	議員意見
<p>この地区の住民は県教育委員会「杉の並木守」活動という杉並木街道の保存活動に協力している。10班に分かれ37kmを網羅し月1回活動中。この杉並木は我々の代で絶やせないという思いで活動しているが、風水害被害や車の振動、排気ガスにより毎年数十本倒れてしまうのが現状。</p> <p>ただし、杉並木の近隣住民は杉並木があることで大変不便である。杉並木をまたいで登下校する子どもたちは道が狭く大変危険。特に板橋バイパスができてから大型車などの交通量が格段に増えた。バイパスは板橋まではできたが、板橋から鹿沼に抜けるバイパスの計画もあると聞いた。杉並木と住民を守るためにはバイパスを抜くしかないと思うが、進み具合を知っていたら教えてもらいたい。バイパスが早くできるようお願いしたい。</p>	
	<p>質問だが、東照宮で並木を保存するのに1本1千万円で売って利益を得ていると思うが、皆さんのようにボランティアで保存活動している人へ何かバックアップはあるのか。</p>
<p>県のオーナー制度のことか。木の所有者は東照宮で変わらず、木にオーナーの名前を付けるだけ。県がその1千万円の運用益で保護事業を実施。ただオーナーは年々減ってきている。その他寄付金も募っているがそちらも減っている。</p>	
<p>杉は大きくなり倒木も増え、家屋がつぶされることもある。並木のそばの家では倒木の危険があるから2階には寝ない。</p>	
	<p>板橋から鹿沼のバイパスは県が事業を進めているが、我々には話が入ってこない。今市方面へ行く道は着々と進んだけれど、鹿沼への道は進んでいないのが現状。並木周辺の法の縛りは大変厳しく、この地区の方々には迷惑をかけていると思う。</p>
<p>落合地区は杉並木があるから発展しない。必要なところは並木を切って広げる必要があると思う。</p>	
	<p>杉並木オーナー制度の運用益は並木の根を守るなどの「保存」に使っている。</p>
	<p>杉並木の近隣住民の貴重なご意見を聴けた。</p>
<p>バイパスの件は、昨年10月に落合地区で説明会があった。今年度に概ねの法線調査を行い、来年度にはその調査の説明会ができるということで、現在鹿沼市境まで調査をしている。</p>	
<p>バイパスに該当する地区ということで、小代・小倉・上板橋の3地区への説明はあった。並木の西側を通る高規格道路とのこと。</p>	
<p>落合地区は大変な少子高齢化。現在は(自分の)地元では日光市で働いている人はおそらくいない。バイパス整備に併せてバイパス沿線に工業団地などを造ってもらえれば(地区に定住してくれるし)、日光市の人口減少スピードも緩やかになる。観光シーズンに混む道路沿いと企業は来てくれないだろう。落合地区は適地である。</p>	
	<p>今の点は帰ったらまとめて、市に要望したいと思う。</p>
<p>落合地区のソーラーパネルの増加が心配。せっかく自然が豊かな地区なのに。例幣使街道沿いにズラッと並んでいる状況である。土砂災害の際にパネルがどのように散らばるのか、暴風にも弱いだろうし、景観も損ねているし、除草剤も使って地下水や土壌の汚染が広がったら、貴重なシモツケコウホネなどひとたまりもないなど。ソーラーパネルについて、市は規制できないのか。</p>	
	<p>市ではソーラーの設置条例(日光市太陽光発電設備設置事業と地域環境との調和に関する条例)ができていて、それに該当していなければ市でもそれなりの行動はできる。</p>
<p>落合地区の自然の豊かさを守りたいと思っている。</p>	
<p>落合地区は学校ボランティア活動が活発である。私は地域の方を10人集めて、昼休みに学校に行き、かけ算九九の暗唱を聴くボランティアや、のこぎりの使い方を教えるボランティアをしている。</p>	

市民意見	議員意見
<p>落合東小学校の体育館のバスケットゴールリングが1年以上壊れており、撤去したのは昨年2月で、昨年市長へ修理してほしいと手紙を出した。1か月後に教育委員会委員長から返事が来たところ、来年(今年)には多分できると。なぜ1年間も放置するのか。このくらいのことがなぜすぐできないのか。先生に聞いたところ、必要とあれば他の学校で練習させますと言われた。これは「教育」ではない。現在、体育館の玄関に撤去したゴールリングは置いてある状態である。</p>	
<p>学校はどうしているのか。</p>	
<p>学校でももちろん要望しているそうだけれど、官官では言うことを聞いてくれないのでは。</p>	
	<p>そんな状況が1年も続いているのは残念だ。</p>
<p>学校も何回も言っているそうだが、予算が無いと言われ困っているとのこと。一応確認と催促をお願いしたい。</p>	
<p>落合地区にはそば屋(農村レストラン)が6カ所ある。そばの作付けも結構あり、生産組合のコンバインの導入により、そばの刈り取りも結構ある。水田もそこそこあり、担い手不足が喫緊の課題である。そんな中、地区によっては集落営農が芽生えてきており、水路の管理にしても国の進める大規模よりは小規模育成で農業に従事できる仕組みをつくるなど、将来の担い手づくりに金銭面の支援を含めてお願いしたい。</p>	
<p>日光市内のある会社が所有する運送トラックの荷台の側面は何も書いていなくて真っ白である。荷台の側面に日光市の宣伝を掲載してはどうかと市に相談したところ、予算がないと言われた。その会社は10台以上所有しており、毎日東京や神奈川に行っている。もっと知恵を絞って日光市をPRしたらどうか。</p>	
	<p>トラック(宣伝等)の規制について調べたい。</p>
<p>長野県辺りに行くと、日光がどこにあるかわからないようだからPRが必要。</p>	
	<p>日光市が知られていないのは非常に残念な話だ。</p>
<p>産廃施設の件。落合地区ではないが、落合地区の上流にあたる大沢に2社ある。第1次発酵施設であり匂いがひどい。県外からも受け入れていて年々受け入れる量が増えている。市では量の規制はできないのか。</p>	
	<p>議会には3つの常任委員会があり、皆さんの意見は仕分けして所管する委員会に伝える。</p>
<p>落合地区ではないけれど、大沢のはずれなので匂いが落合地区に来る。事業を拡大しているようで、今までは山の中だったのが道路から見えるようになった。</p>	
	<p>匂いの規制がない。場所はどこか。</p>
<p>中猪倉。</p>	
<p>市では観光に力を入れており、予算もつけているのだろうが、落合は関係ない。予算も反映されない。来年度は農林と観光が同じ部になると聞いた。落合には素晴らしい農産物があり、流通コストがかからないのだから、観光客が日光の地場産物を日光で消費してもらうような農林と観光が連携した仕組みを作ってほしい。</p>	
	<p>来年度から農林と観光が一緒になるので非常にタイムリーなご意見。</p>

市民意見	議員意見
<p>落合地区は昔から陸上が盛んである。現在も月水金と子どもたち20～100人が集まり練習会を行っている。 日光をランナーの聖地とする事業は拙速であり、無駄な予算の使い方だったと思う。それならばその10分の1の予算でも日光市民に使ってほしかった。市民が使用できる施設の充実など、活きる予算の使い方をして本当の「ランナーの聖地」にしてもらいたい。 100キロマラソンはまだやっているが、観光が所管になるとか。主旨としてはスポーツ振興課が所管ではないか。観光が所管では地方自治法に抵触するのではないかと思う。</p>	
	<p>先ほどの屋台の件。屋台祭りには出ているのか。</p>
<p>時々出ている。毎回は出られない。屋台を組んでおければ。</p>	
	<p>組むのは大変。長老が亡くなると組み立て方が分からなくなる。</p>
<p>まさに今、そのような危機にある。</p>	
	<p>文換の方が寄付して屋台倉庫を造るのか、市に援助を考えてほしいのか。</p>
<p>両方。市では総額の3分の1、上限250万円までは補助する制度があるので、計画出来たら申請するつもり。小倉町の屋台倉庫の見積もりを見せてもらったところ、総額1千万～2千万かかる。今流行りのクラウドファンディングも考えているが、主は地域の方々に寄附をお願いすることになるだろう。</p>	
	<p>倉庫を建てる場所が問題かと思う。早めに地区で団体を作って活動してはどうか。</p>
<p>市に下相談はしており、具体的な計画が出来たら再度来てほしいと言われている。250万円の補助以外で何かないかという相談もしたいと思っている。</p>	
<p>防災無線が聞こえているかどうかの調査を市はしているのか。</p>	
	<p>アンケートをやればわかるということか。</p>
<p>聞こえていないところがたくさんあることを私は知っているのですが、市ではその状況を把握しているかということ。せっかく設置したのに役に立たないのでは困るから。</p>	
	<p>そのとおりである。</p>
<p>落合地区は山が多いが、樹齢70年くらいの太い木が倒れ始まっており処理しづらい。森林の整備が中途半端な気がする。 倒れたままの木がたくさんあるので森林整備を計画的にやってほしい。</p>	
	<p>その倒木は公共物や個人宅の近くか。</p>
<p>そういう倒木もある。地主に依頼してできるだけ処理してもらっているが、ちょっと奥山に入ると何もしない。地主の子どもも相続しないと云っている。</p>	
	<p>我々は森林整備のことはお答えできないが、新聞でご存知のように環境譲与税が4月から導入される。日光市には4千万円が3年間つくが、まず来年度は林業を続ける方、放棄する方の調査。農業の基盤整備と同じような形で調査が始まる。誰も管理しない山は市で管理することになる。</p>
	<p>太い木を切る話は、地主に了解を取らなければならない。</p>
	<p>里山林と奥山林は現在県税で管理しているが、今後のその使い分けがまだ明らかではない。これからは環境譲与税を入れるから県税との調整を県がしているところである。</p>
<p>防犯灯の件。枝が出ていて照らされないところがある。市は業者とどのように契約しているのか、市議会で担当課に聞いてほしい。きちんと保守してほしい。</p>	
	<p>防犯灯が設置されている土地は個人の土地か。</p>

市民意見	議員意見
<p>だいたい電力柱についているが、市で自立型の鉄柱を建てたものは、個人の土地に設置されていると思う。個人の土地の枝を切るのは大変だと思うが市で考えてほしい。</p>	
	<p>自治会長さんを通して市に言っていただければありがたい。</p>
<p>地主の承諾を得て、自治会で枝払いをやっているのが現状である。</p>	
<p>同じような話が、今日は来ていない自治会長のところであった。設置先の個人が枝を切ることになかなかうんと言わないので困っているという話で、粘り強く交渉するようだとのことだった。そういう時に市で応援してもらえるとありがたい。</p>	
	<p>その辺は、市へ自治会長とタイアップするように伝える。 あとは防犯灯を設置する場所は大変だろうけれど地域の事情を知っている自治会長さんをお願いしたい。地元の議員など、我々議員も協力したい。</p>
<p>班としての総括・所感</p> <p>参加者全員が地域の良いところを発言してくれた。また、要望も多く、その要望を聞く時間は必要と思われる。</p>	